



鹿兒島信用金庫



会長
後藤 孝行



理事長
中俣 義公

ごあいさつ

皆さんには、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

ここに第97期業務概況と決算をとりまとめた「2019 かしんディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧賜り、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済は、相次ぐ自然災害の影響で輸出や個人消費が抑えられたものの、政府による「観光先進国」に向けた取組み等により、訪日観光客数が初の3,000万人を突破するなど、地域経済への緩やかな景気回復の流れが波及し始めました。

鹿児島県内の経済は、雇用情勢が堅調に推移してはいるものの、企業の生産活動や設備投資に一服感がみられ、少子高齢化や生産年齢人口の減少などの影響から、業種によっては減速の兆しも見られます。

このような状況のもと、当金庫は環境の変化に応じた業務運営体制の構築を行い、お取引先の課題解決に向けた支援の強化に努めるとともに、営業部門の強化を図るため営業統括部を新設し、今までお取引がなかったお客様との関係づくりを目指しております。

このほか、地域貢献活動「かしんの杜」事業の充実・強化を図り、事業性評価を重視した融資にも積極的に取り組んだことにより、最終利益が増益となり不良債権比率も改善するなど、順調な業績を収めることができました。皆さま方のこの1年間のご支援、ご協力に厚く感謝申し上げます。

今年度は、中期計画「共創力の発揮」の二年目として、当金庫の独自性・強みに磨きをかけ、お取引先や地域を支え共に成長・発展する好循環の形成と、地域と金庫の豊かな未来を創り上げていくことを目指し、役職員一同全力を尽くしてまいる所存です。

皆さま方におかれましては、何卒、今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

令和元年7月

会長 後藤 孝行
理事長 中俣 義公



コーポレートマーク



CONTENTS

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
信用金庫のしくみについて	5
30年度の事業概況	7
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況	9
内部統制システムについて	19
リスク管理体制	22
コンプライアンス態勢について	23
金融ADR制度への対応	27
一年のあゆみ	29
業務内容	31
店舗一覧	35
信金中央金庫のご案内	38
資料編	40

当金庫の概要

本店所在地／鹿児島市名山町1番23号

創立／大正11年10月1日

会員数／44,653先

出資金／40億9百万円

預金／3,111億円

貸出金／2,104億円

店舗数／44ヶ店(代理店含む)

常勤役職員数／408人

(平成31年3月31日現在)

Kashin Disclosure 2019



左から(市川常務理事、中俣理事長、後藤会長、日置常務理事)

役 員

(令和元年6月20日現在)

■会 長

後 藤 孝 行

■常勤理事(総務部長)

富 松 茂 一

■常勤理事(融資部長)

出 口 浩

■監 事

上 川 路 長 生

■理 事 長

中 俣 義 公

■常勤理事(監査部長)

恒 見 良 文

■理事(相談役)

岩 男 秀 彦

■監 事

東 條 正 博

■常務理事

日 置 洋 藏

■常勤理事(経営効率化等担当)

田 實 武 人

■理 事

小 正 芳 史

■監 事

梅 田 望

■常務理事(業務統括部長)

市 川 博 海

■常勤理事(本店営業部長)

米 森 幸 一

■常勤監事

栗 田 広 次

※理事 岩男秀彦、小正芳史は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※監事 東條正博、梅田望は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

経営理念

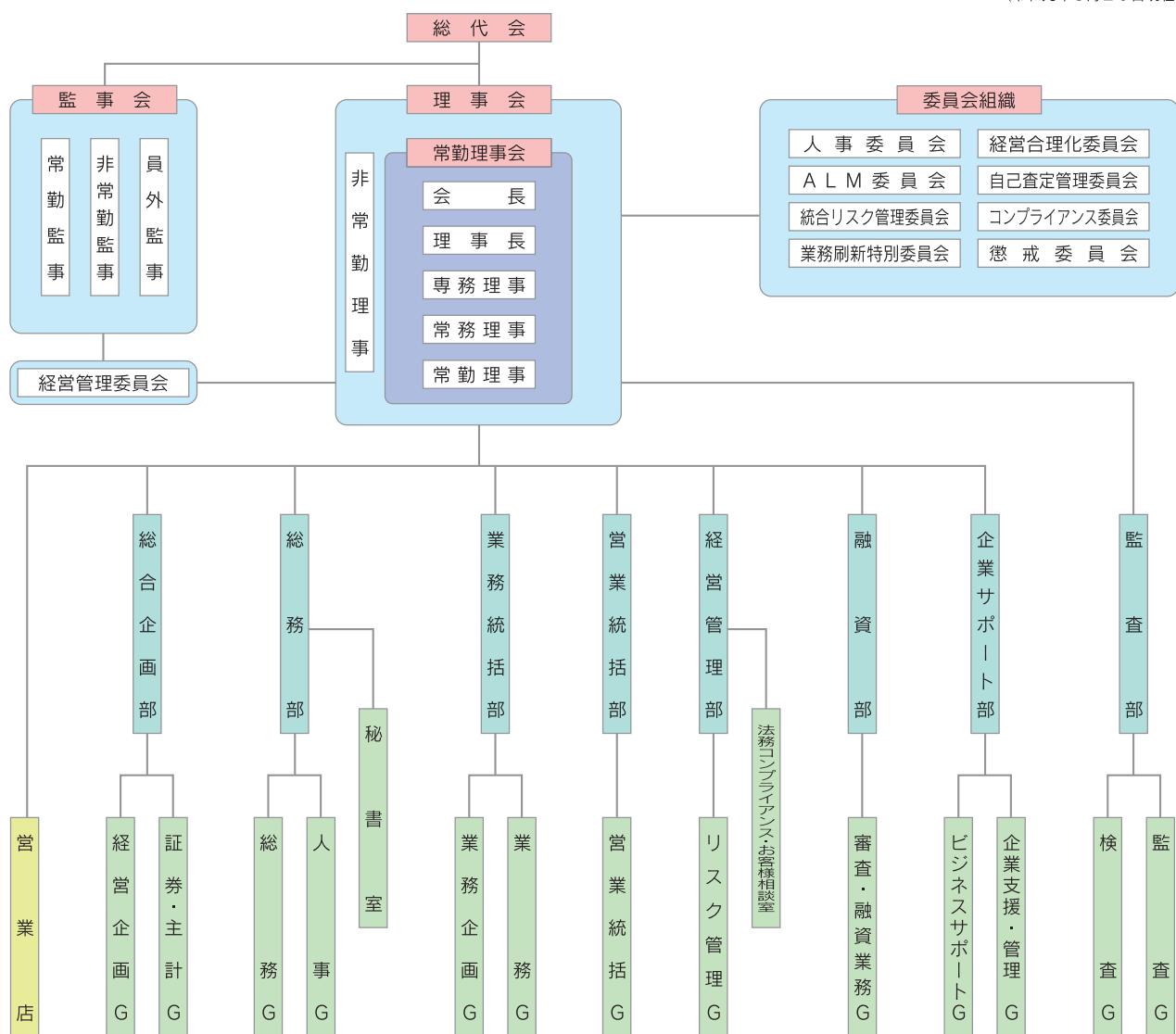
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

基本方針

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
- 我々は中小企業者へ奉仕する。
- 我々は金庫の健全経営に協力する。
- 我々は自己の職責を誠実に果たす。
- 我々はお互いの資質向上に努める。

組織図

(令和元年6月20日現在)



Kashin Disclosure 2019

信用金庫のしくみについて

総代会制度について

1 総代会とはどういうものなのでしょう

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されております。

なお、当金庫では、総代会の機能強化に向け自主的な取組みを実施しております。総代選考のための選考委員は、総代会の決議を経て決定されます。また、深い見識を持つ総代のご意見を経営に活かしていきながら、より多くの方が総代に就任することができますよう、総代の定年制や重任期制限についても検討を行ってまいります。

総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です



2 総代とその選任方法(当金庫 定款24条～30条 及び 総代会選任規程)

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は150人以上180人以下で、各選任区域の定数は、その区域の会員数に応じて定められています。

平成31年3月31日現在

選任区域	会員数			主な営業区域
	法人	個人	合計	
1区	1,847	8,597	10,445	本店営業部・高見馬場支店・武之橋支店・伊敷支店・吉野支店・上町支店・岡之原支店
2区	2,063	8,729	10,794	武町支店・城西支店・鴨池支店・郡元支店・紫原支店・甲南支店・谷山支店・田上支店・脇田支店・坂之上支店・南栄支店
3区	1,563	8,157	9,723	指宿支店・串木野支店・枕崎支店・湯之元支店・伊集院支店・高尾野支店・市来出張所・加世田支店・出水支店・川内支店・阿久根支店・知覧支店
4区	1,940	11,712	13,656	加治木支店・鹿屋支店・国分支店・大口支店・栗野支店・隼人支店・牧園支店・宮之城支店・蒲生支店・姶良支店・寿支店・志布志支店
合計	7,421	37,232	44,653	

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

- そこで総代の選考は、次の3つの手続きを経て選任されます。
- ①会員の中から、総代会決議により総代選考委員を選任する。
 - ②その総代選考委員が総代候補者を選考する。
 - ③その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(3) 総代の選考基準

- ① 資格要件 ・当金庫の会員であること
- ② 適格要件 ・総代として相応しい見識を有していること
・良識をもって正しい判断ができる人であること
・地域における信望が高く、総代として相応しい人であること
・人格、見識に優れ、当金庫の発展に寄与できる方
・金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方

Kashin Disclosure 2019

30年度の事業概況

1 事業方針

平成30年度は、新4カ年計画「共創力の発揮～地元と共に未来へ歩き続ける地域金融機関をめざして～（平成30年4月1日～34年3月31日）」の初年度として、コア顧客に対する「伴走的なサポート」の徹底、地域貢献の更なる徹底、鹿児島における継続性の確保のための収益力等の強化、経営力・内部態勢の強化、人材力の強化を基本方針に掲げ事業に取り組んでまいりました。

特に、コア顧客に対する「伴走的なサポート」の徹底等を図るべく、新たな本部組織として「企業サポート部」を新設しました。地域貢献の更なる徹底については、「かしんの社」の充実強化を図りました。また、金融仲介機能の質の向上を図るために事業性評価融資の徹底に重点を置いた事業展開を行いました。

2 金融経済環境

日本経済は、マクロでの緩やかな景気回復の流れが地域経済にも幾分波及し始めているものの、人手不足や後継者難の深刻化等多くの問題が山積しており、全国の中小企業の業況の十分な改善には至っておりません。

また、海外経済情勢については、米国の自国第一の政策に伴う米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱の難航等に伴って、世界経済の成長鈍化が懸念されるなど、今後の大きなリスク要因とみられております。

一方、鹿児島県の景気は、雇用情勢が堅調に推移してはいるものの、企業の生産活動や設備投資に一服感がみられ、少子高齢化や生産年齢人口の減少などの影響から、業種によっては減速の兆しも見られるようになってきております。

3 業績

当金庫は、信用金庫の独自性である地域経済・産業や取引先企業への課題解決に向けた金融仲介機能の質を高め、また顧客本位の良質な金融サービスの提供を推し進めることで、地元中小企業者や地域社会を支え、共に成長・発展し、豊かな未来を創り上げていくことを目指し、事業性評価を重視した融資取組みを行うとともに、今までにお取引がなかつたお客様へも当金庫を理解していただくよう、積極的な融資推進活動を続けてまいりました結果、当期末における貸出金残高は、前期に比べ16億24百万円増加し2,104億79百万円となりました。

また、取引基盤の拡大にも取り組み、預金残高は前期に比べ5億80百万円増加し3,111億82百万円となりました。

収益面では、マイナス金利環境や同業他金融機関との競合による貸出金利の低下圧力が強い中、貸出金利回りが昨年度から0.011%低下の2.260%に留められ、本業収益である貸出金利息が増加したもの、市場環境の悪化により有価証券関連利益が減少したことから、業務純益は前期に比べ2億19百万円減少し14億2百万円となりました。しかしながら、昨年度までに不良債権処理を積極的に行ってきた効果から信用コストの減少につながり、経常利益は前期に比べ2億18百万円増加し6億82百万円、当期純利益は前期に比べ1億68百万円増加し4億50百万円となりました。なお、不良債権比率は前期に比べ0.36ポイント改善し3.27%となりました。

4 事業の展望及び当庫が対処すべき課題

政府の経済政策をみると、外国人観光客の誘致や人工知能、ビッグデータ等の活用による社会のデジタル化の推進に取り組む一方、人生100年時代を見据えたダイバーシティの推進等の雇用制度改革も進めています。

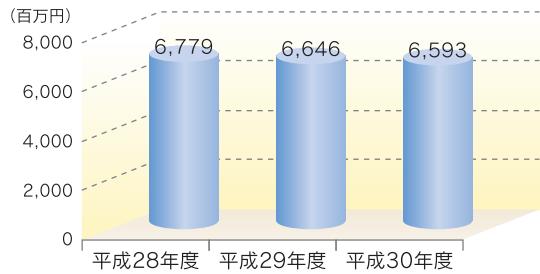
一方、金融業界においては、日本銀行による超低金利政策の長期化に伴い、預貸金利鞘や有価証券運用益による利益の確保が一段と困難になってきております。

また、県内経済の動向としまして、鹿児島市中心部における再開発事業や交通局跡地の再開発といった大型の都市開発計画が続いており、2020年の東京オリンピック後の「燃ゆる感動 かごしま国体」開催を起爆剤とした景気浮揚策を官民一体となって推進していくものと思われます。

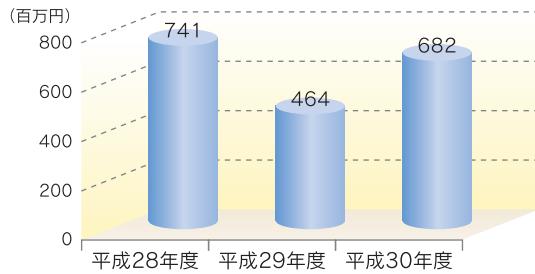
このような環境の中、当金庫は、信用金庫の大きな使命である地域社会への貢献のために、地域金融機関に求められる課題にタイムリーに対応し、地域経済の発展に全力で取り組んでまいります。

また、平成31年度（令和元年度）は、平成30年4月からスタートした中期計画「共創力の発揮」の2年目となり、当金庫の独自性・強みに磨きをかけ、お客様や地域を支え、共に成長・発展する仕組みを深化させていくことで、地域金融機関として強固な経営基盤を確立し、豊かな未来を創り上げていくことを目指し、役職員一同全力を尽くしてまいります。

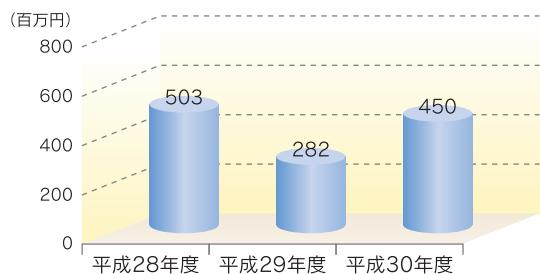
【経常収益】



【経常利益】



【当期純利益】



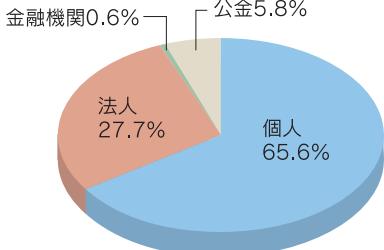
【自己資本比率】



【預金積金残高】



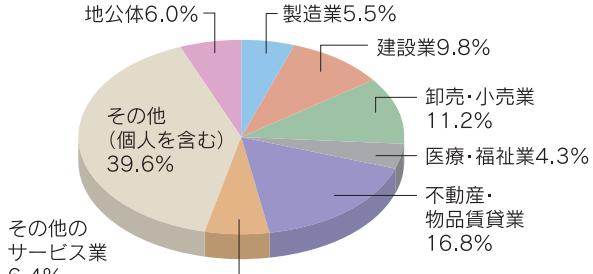
【預金残高全体に占める預金者別割合】



【貸出金残高】



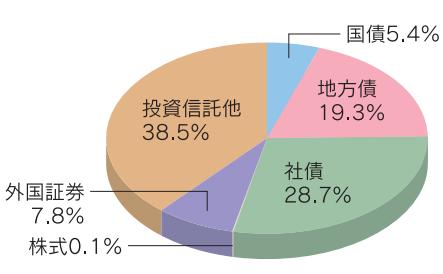
【貸出金残高の業種別比率】



【有価証券残高】



【有価証券残高の内訳別比率】



Kashin Disclosure 2019

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

かしんの杜

「つなぐ力の発揮」 かしんの地域貢献活動

地域の活性化を図るため、鹿児島信用金庫の地域貢献として「かしんの杜」(かしん総合人材育成構想)活動を行っております。

かしんの杜

① 経営の杜

- ①かしん経営大学
- ②かしんビジネスチャレンジプラザ
- ③かしんトップマネージメント大学
- ④かしん経営者フォーラム
- ⑤かしん経営相談室
- ⑥かしん企業サポート相談室

② 教育の杜

- ①かしんアイホールセミナー
- ②かしんこども信用金庫教室
- ③かしん自然ふれあい教室
- ④硬筆コンクール協賛

③ 音楽の杜

- ①かしんチャリティー演奏会
- ②南日本音楽コンクール協賛
- ③各種ミニコンサート

④ スポーツの杜

- ①かしんカップ少年サッカー大会
- ②かしん旗少年剣道大会
- ③鹿児島信用金庫旗争奪
全日本少年軟式野球大会
- ④かしん旗争奪少年ソフトボール大会

⑤ 緑の杜

- ①植樹による「かしんの森」活動
- ②各種エコ活動

⑥ その他

- ①各地域での清掃活動
- ②献血活動

経営の杜

①かしん経営大学 ~地方創生の取組みは第2ステップへ~

経営戦略や企業発展を目指すための勉強を目的として、平成8年に「かしん経営大学」を開校しました。

平成30年度は、受講生、地方公共団体職員、当金庫職員が一体となり、地域活性化のための事業計画の立案に取組み、それぞれ素晴らしい事業計画が完成しました。

かしん経営大学では、経営に必要な知識や考え方、スキルを学ぶ座学研修と学んだ知識を生かしてグループワークを行います。異業種によるグループワークで一つのテーマに基づいた事業計画を作成することで、各業種から参加された方々が自らの業界との比較や経営方法を他社から学び活かしていくことは、非常に貴重な経験となります。



②かしんビジネスチャレンジプラザ

「かしん経営大学」卒業生のフォローアップと県内中小零細企業活性化のための経営者育成並びに創業を支援し、多彩なビジネスを創造することで地域産業の成長に貢献することを目指しています。

かしんチャレンジマーケット in AMU広場

鹿児島中央駅AMU広場において、当金庫の顧客・経営大学の卒業生等を対象に、顧客との対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の「売る気と売る技術」を磨くとともに、顧客の反応を肌で感じる場の提供を平成24年より実施しております(年間12回)。



③かしんトップマネージメント大学

お取引先法人企業経営者の人材育成および企業の業績向上させるとともに、地域経済の浮揚を図ることを目的として、「かしんトップマネージメント大学」を平成22年に開校しました。

トップマネージメント大学では、法人企業の経営者および後継者、役員、部課長などの経営幹部を対象とし、税理士や中小企業診断士等の講師が、主に経営戦略・経営課題・財務分析を専門的に、またわかりやすく講義しています。



④かしん経営者フォーラム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に「かしん経営者フォーラム」を開校いたしました。県内企業の若手経営者、経営幹部、後継者の方々を対象に、各界講師による経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務などの様々な経営に関する勉強を行っています。

平成30年度より、当金庫の伴走的サポートの取組みとして事業承継問題をテーマに、専門家、当金庫職員が一体となってお客様の事業承継の課題に取組む「事業承継塾」を開催しております。



⑤かしん経営相談室

地域創生・活性化の支援と取引先の経営力強化のため、外部専門機関等と連携し、「かしん経営相談室」を無料で開設しております。

- 日時:随時
- 会場:かしんアイホールビル2階、お取引営業店
- 対象:当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者
- 相談:予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。
(1回の相談時間:原則2時間)

内 容	①経営全般の相談 ②創業・新事業相談 ③相続・事業承継相談 ④税務相談 ⑤その他	相談員	株式会社 アセットパートナーズ南九州 税理士法人 さくら優和パートナーズ
-----	--	-----	---

⑥かしん企業サポート相談室

平成30年5月に取引先の法人経営者及び個人事業主を対象として「かしん企業サポート相談室」を開設しました。これは、お客様が事業承継、相続、贈与、M&A等の専門性の高い課題について、弁護士法人照国総合事務所の弁護士、税理士等へ直接相談できるもので、取引先の経営課題解決を図ることで当金庫と強固な関係を構築することを目的としています。

- 日時:随時
- 会場:かしんアイホールビル2階
- 対象:当金庫取引先の法人企業経営者、個人事業者及び創業予定者、
お取引営業店
- 相談:予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。
(1回の相談時間:原則2時間)

内 容	①事業承継・M&A相談 ②税務相談 ③経営全般の相談 ④創業・新事業相談 ⑤その他	相談員	弁護士法人 照国総合事務所
-----	---	-----	------------------



商談会への出展支援 ~ビジネスマッチング支援~

本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工業者の方々を対象に、首都圏や県内外に向けて食品を紹介し、県内7金融機関で構成する「鹿児島アグリ＆フード金融協議会」の一員として市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会を開催し、また、県外信用金庫の主催する商談会に参加するなどのビジネスマッチング支援を行っております。

主な商談会

- 食の大商談会インフォメーションバザール(東京都)
- うんまか鹿児島輸出商談会2018(鹿児島)
- かごしまの逸品商談会(鹿児島)
- よい仕事おこしフェア(東京都 城南信用金庫主催)



Kashin Disclosure 2019

かしんの杜

教育の杜

①かしんアイホールセミナー

皆様の暮らしに役立てていただくことを目的として、年金・医療分野など国内情勢に応じた身近なテーマで、平成23年から「かしんアイホールセミナー」を定期開催しております。これからも、多くの方が興味をもたれる分野をテーマにアイホールセミナーを開催します。

最近のアイホールセミナー開催内容

演題	25歳でがんになった僕 ～若年世代（AYA世代）のがんと就労・お金の現実
講師	岸田 徹氏 NPO法人 がんノート 代表理事



②かしん「こども信用金庫」教室

金融教育を通して健全な金銭感覚を育てるとともに、当金庫を身近に感じてもらうことを目的として、平成23年からかしん「こども信用金庫教室」を開催しております。

セミナーでは、ものやお金の価値、お小遣い帳の上手な使い方などを学び、体験学習では、お札の数え方や端末を利用した入金業務、本物の1億円の重さの体感、支店内の見学などで金融の仕事を学びます。

参加者の小学生からは、夏休みの自由研究にできるとの喜びの声もいただいております。



③硬筆コンクール協賛

KKB硬筆コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にする心を育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としており、当金庫も「教育の杜」事業として協力しています。

県内外の学校や書道教室等から、4,700点を超える出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる作品の応募があり、鹿児島信用金庫賞の授与も行います。



④かしん自然ふれあい教室

身体全体で自然と関わる活動を通じて、子供たちの健全な育成と親子の絆をより一層深めていただくことを目的として、平成30年10月28日(日)に「かしん自然ふれあい教室」を開催しました。初めての開催となる今回は、子育て支援や環境問題に取り組む枕崎のNPO法人「自然花」様にご協力いただき実施しました。体験学習の内容は、フィールドアスレチック体験や野菜収穫等の農業体験、生地からピザを作る食育体験などで、参加された親子は身体全体で自然を満喫していました。



音楽の杜

①かしんチャリティー演奏会

社会貢献活動の一環として毎年チャリティー演奏会を開催しています。ステージは、創部80年を超える「鹿児島信用金庫 吹奏楽部」と地元で活躍されている音楽家の方々との楽しいコンサートです。

また、皆さまから寄せられました慈善会員券の売上代金と寄付金の浄財は、全額社会福祉事業等へ寄付しております。皆さまの善意に深く感謝申し上げます。



吹奏楽部の出演行事	主催(場所)
国分夏祭り	霧島商工会議所(霧島市)
みしまカップウェルカムパーティー	MISHIMA CUPウェルカムパーティー実行委員会(枕崎市)
吹奏楽コンクール	鹿児島県吹奏楽連盟 他(鹿児島市)
オロシティー夏祭り	鹿児島総合卸商業団地協同組合(鹿児島市)
賀寿園慰問演奏	社会福祉法人隆愛会(志布志市)
ひまわり園慰問演奏	社会福祉法人中江報徳園(鹿児島市)
おはら祭	おはら祭振興会(鹿児島市)
吹奏楽フェスティバル	鹿児島県吹奏楽連盟(鹿児島市)
チャリティー演奏会	当金庫(鹿児島市)
南さつま海道 鑑真の道歩き	南さつま海道鑑真の道歩き実行委員会(南さつま市)
知覧地区音楽祭	知覧地区文化委員会(南九州市)
桜ちようちんフェスタ	桜ちようちんフェスタ実行委員会(鹿児島市)

②南日本音楽コンクール協賛

南日本音楽コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、管打楽、木管、金管、声楽、作曲の7部門に対して、参加者は小学生から大学生・一般と幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を担っています。当金庫は、鹿児島の音楽文化発展のため、本コンクールに特別協賛するとともに、鹿児島信用金庫賞の授与も行っています。



Kashin Disclosure 2019

かしんの杜

スポーツの杜

①かしんカップ少年サッカー大会

サッカーを通じて各チームの相互の親睦と少年の健全育成を図り、あわせてサッカーの普及ならびに技術の向上を目的として、平成18年から「かしんカップ少年サッカー大会」を開催しております。

30年度は、63チーム約1,000名の小学生が参加し、熱戦が繰り広げられました。また、「エコキヤップ運動」を実施し、ペットボトルキヤップ約54万個が参加者の協力で集められ、世界の子どもたちへ感染症のワクチン代として寄付するための支援活動も行っています。



②かしん旗少年剣道大会

剣道を修習する青少年の気力・体力・技術の向上を図り、相互の親睦を深め、将来の郷土を担う青少年の健全育成を目的に平成24年から「かしん旗少年剣道大会」を開催しております。

30年度は、74チーム、約440名の少年剣士が集い、真剣なまなざしで元気いっぱいの試合が繰り広げられました。また、回を重ねるごとに、大会規模も拡大され「かしん旗」という冠杯として県下一円に浸透しつつあります。



③鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会協賛

全日本少年野球大会は、中学生を対象とした軟式野球大会となっており、県内の予選を勝ち抜いたチームは九州大会、そして全国大会へと挑戦することとなり「中学生の甲子園」とされ、中学生憧れの大会となっています。当金庫は優勝旗やメダルの提供を行い鹿児島県予選大会に協賛し「鹿児島信用金庫旗争奪全日本少年軟式野球大会」として開催されています。



④いぶすき菜の花マラソン協賛

いぶすき菜の花マラソンは、全国で開催されるマラソン大会の中でその年の最初に開催される公認のマラソン大会であり、また、コース沿道では市民によるランナーへの心温まるおもてなしでも全国的に注目を集め、人気のあるマラソン大会となっており、毎年13,000名ものランナーが県内外から参加されています。当金庫は本大会に協賛し、市民ボランティアの一員として会場設営や大会会場で開催されるイベント等に協力を行っております。



⑤かしん旗争奪少年ソフトボール大会

将来の郷土を担う青少年の健全育成と選手および育成指導者の親睦を深めることを目的に、平成30年12月23日(日)に「第1回かしん旗争奪少年ソフトボール大会」を開催しました。県内各地より32チーム、総勢600名を超える小学生が鹿児島市郡山総合運動場で熱戦を繰り広げました。今後、本大会が県下一円に浸透し、小学生の目標となる大会となることを期待して、地域スポーツの発展と青少年の健全育成に貢献していきます。



緑の杜

当金庫では「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、森林づくりや、環境緑化に取り組んでいます。「緑の杜」事業の一環として、「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ寄付を行い、鹿児島県の森林整備に役立てていただいております。また、毎年4月29日に開催される「みどりの感謝祭」において、森林整備に取り組んでいる企業として同基金より感謝状をいただき、同日は職員と家族による森林づくり活



お取引先とのつながりについて

かしんハッピーハイ

当金庫では、早くからお取引先との組織作りに力を入れてあります。

昭和38年11月、鹿児島信用金庫本店新築前に若手経営者の有志22名が将来の鹿児島の中核を目指し、また、当金庫の強力な推進母体となるべく、お互いの研鑽努力を誓いあって「かしんハッピーハイ」をスタートしました。その後、会員数も増加し、「会員の資質向上を図る場」「異業種交流の場」「会員相互間の親睦と連携を深める場」として全営業店単位で組織化、平成25年11月には設立50周年を迎え、現在は1,400名を超える会員で活動を行っています。また、講演会では毎回600名を超える参加者のもと、各界の著名な講師陣による講演会を開催しており、皆さまから好評をいただいています。



これまでの講師陣

- 吉野家ホールディングス会長／安部修仁 氏
- 大相撲元大関・タレント／KONISHIKI(小錦氏)
- シンクタンク・ソフィアバンク代表／藤沢久美 氏
- 鹿児島県観光プロデューサー／古木圭介 氏
- 俳優／榎木孝明 氏
- 奄美パーク園長／宮崎緑 氏
- 野球解説者・スポーツコメンテーター／広澤克実 氏
- 志學館大学教授／原口泉 氏

目的

・会員の資質向上・福祉の増進及び会員相互の親睦と友愛強調を図り、事業の健全運営を図る。

・金庫の事業進展に積極的に協力する。

活動内容

・各界講師・金庫役員等による講演会

・会員相互並びに金庫との情報交換や懇談会

・経営幹部のための諸研修会の開催

・ビジネスマッチング

・ゴルフコンペやその他の親睦会 など

KYC(鹿児島信用金庫青年クラブ)

次世代を担う若手経営者が、これから学びかつ進むべき道をお互いの連携の中で求め、鹿児島に寄与することをスローガンとして昭和49年に発足した異業種交流会であり、原則として50歳未満の会員をもって構成されています。

主な活動内容としては、例会、ボランティア活動、講演会、視察旅行、宿泊交流会等で会員自身による自主的な計画のもとで活動しています。



かしんレディース会

働く場面での活躍を希望する全ての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる女性活躍社会の実現を応援するため、異業種交流によるキャリアアップとより輝きのある女性を目指すことを目的として、「かしんレディース会」を発会しました。

本会は、女性経営者をはじめとした多くの社会人女性の方々で構成されており、キャリアアップの為のセミナーや講演会等の様々な企画を予定しております。



Kashin Disclosure 2019

金融仲介機能の発揮に向けた取組み (基準日:平成30年3月31日)

当金庫は、「中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に努める」を経営理念として掲げ、地域とともに成長・発展する「好循環」に向けた取組みを、6つの柱で構成する地域貢献活動「かしんの柱」を通じて展開しています。

特に「経営の柱」では、平成8年に開設した「かしん経営大学」を中心として、お取引先の本業支援や経営改善支援などにお役にたてるよう、各種セミナー等を開催しております。

こうしたなか、平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」(以下、「ベンチマーク」という。)の趣旨を踏まえて、当金庫の「かしんの柱」を通じた金融仲介機能の発揮に向けた取組みと、その実施状況を客観的に指数で表したベンチマークを公表いたします。

今後もベンチマークを効果的に活用し、お取引先の経営課題に応じたソリューションの提供などに積極的に取組んでまいります。

◆法人取引先数と地域別の取引先数及びメイン取引(融資残高1位)先数の推移

(単位:社)

ベンチマーク	平成28年3月末			平成29年3月末			平成30年3月末		
	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外	鹿児島市内	鹿児島市外	地元外
法人取引先数	2,449			2,531			2,620		
地域別の取引先数の推移	1,212	1,232	5	1,262	1,265	4	1,293	1,325	2
法人メイン取引 (融資残高1位)先数の推移	1,521			1,602			1,674		
法人取引先数に占める割合	62.1%			63.3%			63.9%		

◆メインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業(法人及び個人事業者)のうち経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加がみられた先数、及び同先に対する融資額の推移

ベンチマーク	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末
全企業数(法人及び個人事業者)[グループ単位]	4,085	4,227	4,331
メイン取引(融資残高1位)先数(単位:社)	3,095	3,076	3,284
メイン取引先の融資残高(単位:億円)	1,027	1,082	1,114
経営指標等が改善した先数(単位:社)			1,065
3年間の事業年度末の融資残高(単位:億円)	536	594	616

◆ライフステージ別の企業(法人及び個人事業者)先数及び融資額

ベンチマーク	全企業先	創業期	安定期	再生期
ライフステージ別の企業に係る 事業年度末の企業先数 (単位:先)	4,331	283	2,316	274
事業性評価に基づく融資を行っている企業先数及び 占める割合 (単位:社)	71 1.6%			
ライフステージ別の企業に係る 事業年度末の融資残高 (単位:億円)	1,535	111	996	190
事業性評価に基づく融資を行っている企業先の融資 残高及び占める割合 (単位:億円)	100 6.5%			

◆本業(企業価値の向上)支援先数及び、全取引先数に占める割合

(単位:社)

ベンチマーク	全取引先数	本業支援先数	支援先の比率
本業支援先数及び、全取引先数 に占める割合	4,331	25	0.6%
本業支援のうち、経営改善が みられた先	—	(18)	(72.0%)
取引先の本業支援に関連する中小企業 支援策の活用を支援した先	30		

本業支援先:かしん経営大学、かしんチャレンジマーケット、各種商談会等への参加企業数

◆中小企業向け融資や本業支援を主に担当している従業員数及び全支店または全本部従業員に占める割合

ベンチマーク	従業員数 (単位:人)	中小企業・本業支援担当者数 (単位:人)	全従業員に占める割合
中小企業向け融資や本業支 援を主に担当している従業 員数及び全支店または全本 部従業員に占める割合	支店従業員 366	152	41.5%
	本部従業員 87	24	27.6%

◆貸出条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

(単位:社)

ベンチマーク	総 数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	329	56	31	242
事業再生先 (取引先の経営再建や事業再生に取組んでいる先)	14	5	2	7
中間管理先 (取引先の経営改善や経営課題解決に取組んでいる先)	59	11	7	41
計	73	16	9	48
構成比	100%	21.9%	12.3%	65.7%

◆本業(企業価値の向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

ベンチマーク	平成29年3月末	平成30年3月末
創業に関与した件数(単位:件)	35	28
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数(単位:社)	29	5
事業承継支援先数(単位:社)	7	10
中小企業再生支援協議会の利用件数(単位:社)	9	3

Kashin Disclosure 2019

お客様への「伴走的サポート」の徹底について

【企業サポート部の創設】

地域・取引企業とのより深い関係の構築や、共に成長・発展する好循環を形成することで地域における存在価値を高めることが必要不可欠となっていることから、コア顧客に対する「伴走的サポート」の徹底を図るため、平成30年2月に「企業サポート部」を創設しました。

企業サポート部は、取引先を訪問することで様々な経営課題について相談を受け、課題解決のための方策を検討しています。また、専門性の高い課題については、提携している外部専門家、信金中央金庫、鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点等の外部機関も活用し、適切な解決策をご提案しています。



平成30年度 総訪問先数 255先

◇事業承継

かしん企業サポート相談室5先、かしん経営相談室5先、事業承継塾16先参加

◇人材

プロフェッショナル人材拠点へ26先を案内

◇M & A

かしん経営相談室3先、鹿児島県事業引継ぎセンターへ4先を案内

◇ビジネスマッチング

信金中央金庫へ8先依頼

◇相続

かしん企業サポート相談室1先、かしん経営相談室1先

【弁護士法人照国総合事務所との「企業サポート支援業務連携」に関する協定締結】

企業サポート部は、取引先企業の経営課題に積極的に関与し、価値のある的確な提案を行うことを目的として活動しています。しかし、事業承継、相続、贈与、M&A等については専門家による解決が不可欠なことから、優れた弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士を擁してワンストップ体制が整っている、弁護士法人照国総合事務所と「企業サポート支援業務連携」に関する協定を締結しました。

業務提携の内容

- ①事業承継・M&Aに関する事項
- ②財務、遺言、税務に関する事項
- ③経営分析、企業再生などに関する事項
- ④創業、第二創業に関する事項
- ⑤業容・業務拡大、本業支援に関する事項
- ⑥その他、経営課題の解決への提案・助言に関する事項



【かしん企業サポート相談室の開設】

当金庫は、平成30年5月に取引先の法人企業経営者及び個人事業主を対象として「かしん企業サポート相談室」を開設しました。これは、お客様が事業承継、相続、贈与、M&A等の専門性の高い課題について、弁護士法人照国総合事務所の弁護士、税理士等へ直接相談できるもので、取引先の経営課題解決を図ることにより、当金庫と強固な関係を構築することを目的としています。

相談内容

- ①事業承継・M&A相談
- ②税務相談（相続贈与税・節税対策等）
- ③経営全般の相談（経営分析・財務会計・経営改善計画等）
- ④創業・新事業相談
- ⑤その他

直接、相談可能です

相談員

- 弁護士法人
照国総合事務所
- ・弁護士
- ・税理士
- ・司法書士
- ・社会保険労務士 など



地域金融円滑化のための基本方針

地域の中小企業及び個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1 取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組みます。

2 金融円滑化の実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢、整備を図っております。

- ①当金庫では、お客様のご要望に応えるよう真摯に対応いたします。
- ②当金庫では、お客様の経営相談・経営指導・経営改善に向け積極的に支援いたします。
- ③当金庫では、金融円滑化管理方針及び同規程を策定しております。
- ④当金庫では、金融円滑化管理全般を統括する部門を設置しております。
- ⑤当金庫では、金融円滑化管理に関する担当役員等責任者を配置しております。

3 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客様から貸付条件の変更等の申し出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客様の同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、30年度に当金庫において、新規に無保証で融資した件数は474件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は7.86%、保証契約を解除した件数は2件でした。保証債務整理については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

●平成30年度 経営改善支援等の取り組み実績

(単位:先数)

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取り組み先数				B/A	C/B	E/B
			B	C	D			
正常先 ①	3,365	0			0	0	0.0%	-
要 注意 先 ②	464	113	6	103	37	24.4%	5.3%	32.7%
うち要管理先 ③	16	9	0	5	6	56.3%	0.0%	66.7%
破綻懸念先 ④	70	25	0	23	12	35.7%	0.0%	48.0%
実質破綻先 ⑤	48	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	4	0	0	0	0	0.0%	-	-
小 計 (②~⑥の計)	602	147	6	131	55	24.4%	4.1%	37.4%
合 計	3,967	147	6	131	55	3.7%	4.1%	37.4%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は30年4月当初時点で整理しています。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・Cには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はBに含めるもののCに含めていません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はCに含めています。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

・Dには、期末の債務者区分が期初と変化しなかつた先数を記載しています。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

・「Bのうち再生計画を策定している全ての先数 E」には、当金庫独自の再生計画策定先のほか、中小企業支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含みます。